

## ドナーミルク未利用施設を対象としたアンケート調査 2023

こども家庭科学研究費補助金・こども家庭行政推進調査事業費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業「ドナーミルクを必要とする児に普及するために必要なエビデンスを構築するための研究」では、ドナーミルクを必要とする早産・極低出生体重児にドナーミルクを安定供給できるよう母乳バンクを整備しております。ドナーミルクを利用した児のレジストリ調査ならびに今後どの程度の母乳バンクが必要なのか、また、ドナーミルクのアクセスを改善するためにはどのようにすればよいかを検討しております。

ドナーミルクを利用いただく施設も増えておりますが、まだまだ使用に至らない御施設も多くいらっしゃいます。今回、ドナーミルク未利用の御施設に対してドナーミルクを利用されていない理由をお伺いするために本アンケート調査を行いたいと思います。なお、このアンケート調査は前述の「ドナーミルクを必要とする児に普及するために必要なエビデンスを構築するための研究」の仕事として行います。お忙しい中で大変恐縮ですが、何卒宜しくお願いいたします。

こども家庭科学研究費補助金・こども家庭行政推進調査事業費補助金「ドナーミルクを必要とする児に普及するために必要なエビデンスを構築するための研究」

分担研究者 谷有貴（奈良県立医大小児科学講座）

\*2022年1月1日から2022年12月31日の1年間についてお答えください

1. 貴施設の病床数を教えてください

NICU 病床数（                  床）    GCU 病床数（                  床）

2. 貴施設の入院数についておたずねします

NICU 総入院数（                  名）

極低出生体重児（1000～1499g）と超低出生体重児（～1000g）の人数を記入ください。

極低出生体重児（                  名）    超低出生体重児（                  名）

3. 消化管疾患の術後の児の診療を行いましたか

はい     いいえ

はいとお答えの方は何名おられたか、教えてください。（                  名）



8. 以下の項目に 1. そう思う、2. どちらかというと思う、3. どちらかというと思う、4. そう思わない、5. わからない、でお答えください

1) 超早産児（～28週）に対してドナーミルクは健康上の利点がある（ ）

2) 後期早産児（34～36週）に対してドナーミルクは健康上の利点がある（ ）

3) 正期産児（37週～）に対してドナーミルクは健康上の利点がある（ ）

4) ドナーミルクは強化をすれば早産児の成長に適切である（ ）

5) ドナーミルクの値段（年会費）は適切である（ ）

（母乳バンクの年会費はドナーミルク年間使用量によってランクがあり、Gold会員：年間60ℓまで・90万円、Silver会員：年間40ℓまで・60万円、A会員：年間20ℓまで・30万円、B会員：年間10ℓまで・15万円、C会員：年間5ℓまで・10万円となっています。）

3, 4, 5を選ばれた方は、いくらぐらいが妥当だと思われませんか

（ ）万円/年

6) オーダーしてからドナーミルク受け取りまでの時間は適切である（ ）

（母乳バンクに午前中にオーダーしていただくと、本州であれば翌日にはお届け出来ます。北海道・沖縄・離島などでは数日かかることもあります。）

7) 母乳バンクから提供しているドナーミルクは安全である（ ）

3, 4, 5を選ばれた方はその理由もお書きください。

（ ）

8) 施設はドナーミルクに受容的である（ ）

9) 患児の家族はドナーミルクに受容的である（ ）

10) 看護師はドナーミルクに受容的である（ ）

11) 新生児科医師はドナーミルクに受容的である（ ）

12) ドナーミルクを使用しなくても貴施設の栄養管理では問題はない（ ）

その理由を教えてください

（ ）

13) そのほかドナーミルクについてご意見をお書きください

( )

9. 貴施設でドナーミルクを使用する上で問題となると思われることはどのようなことですか。(複数回答可)

- 導入手続きの仕方がわからない
- 年会費が高い
- 安全性が不安
- 実際にどれだけの症例にドナーミルクが必要か想像つかない
- ドナーミルクの保管方法がわからない
- ドナーミルクの使用方法がわからない
- そもそもドナーミルクについてよく知らない
- その他(自由記載)

( )

貴施設での栄養管理についてお尋ねします。

10. 経腸栄養の開始は貴施設で

- 標準化している       主治医の裁量による

超低出生体重児(AGAのみ)において:

11. 理想的には経腸栄養は生後何時間以内に開始すべきと思いますか

( ) 時間

12. 実際には経腸栄養は生後どのくらいから開始していますか

(母親の母乳の場合、開始したと判断する時期は、①3時間ごとに届く、②投与を指示する量が届く(例:1mL×8回なら1mL以上が届く)、とします)

- 12時間以内    12~24時間    24~48時間    48~72時間

その他 ( )

13. 経腸栄養の開始は何を用いていますか（複数選択可）

母親の母乳  もらい乳（パストツールなし）

もらい乳（パストツールあり）  人工乳  経管栄養剤

**超低出生体重児（SGAのみ）において：**

14. 理想的には経腸栄養は生後何時間以内に開始すべきと思いますか

（ ）時間

15. 実際には経腸栄養は生後どのくらいから開始していますか

（母親の母乳の場合、開始したと判断する時期は、①3時間ごとに届く、②投与を指示する量が届く（例：1mL×8回なら1mL以上が届く）、とします）

12時間以内  12～24時間  24～48時間  48～72時間

その他（ ）

16. 経腸栄養の開始は何を用いていますか（複数選択可）

母親の母乳  もらい乳（パストツールなし）

もらい乳（パストツールあり）  人工乳  経管栄養剤

**極低出生体重児（1000～1499g：AGAのみ）において：**

17. 理想的には経腸栄養は生後何時間以内に開始すべきと思いますか

（ ）時間

18. 実際には経腸栄養は生後どのくらいから開始していますか

（母親の母乳の場合、開始したと判断する時期は、①3時間ごとに届く、②投与を指示する量が届く（例：1mL×8回なら1mL以上が届く）、とします）

12時間以内  12～24時間  24～48時間  48～72時間

その他（ ）

19. 経腸栄養の開始は何を用いていますか（複数回答可）

母親の母乳  もらい乳（パストツールなし）

もらい乳（パストツールあり）  人工乳  経管栄養剤

極低出生体重児（1000～1499g：SGAのみ）において：

20. 理想的には経腸栄養は生後何時間以内に開始すべきと思いますか  
( ) 時間

21. 実際には経腸栄養は生後どのくらいから開始していますか  
(母親の母乳の場合、開始したと判断する時期は、①3時間ごとに届く、②投与を指示する量が届く(例：1mL×8回なら1mL以上が届く)、とします)

12時間以内 12～24時間 24～48時間 48～72時間

その他 ( )

22. 経腸栄養の開始は何を用いていますか：

母親の母乳 もらい乳(パストツールなし)

もらい乳(パストツールあり) 人工乳 経管栄養剤

当研究班で作成した「ドナーミルク利用開始マニュアル」についておたずねします。

23. 研究班から2022年1月に「ドナーミルク利用開始マニュアル」をお送りしましたが、受け取られましたか

はい  いいえ

24. 「ドナーミルク利用開始マニュアル」をご覧になって、ドナーミルクの利用に前向きな気持ちの変化がありましたか

あった  どちらかと言えばあった  どちらともいえない

どちらかと言えばなかった  なかった

25. 「ドナーミルク利用開始マニュアル」についてご意見・ご感想があれば教えてください

( )

お忙しいところご回答いただきありがとうございました。